



Network



6月26日、「フェアトレードフェスタ 2022 in さっぽろ」が3年ぶりに対面とオンラインのハイブリッドで開催されました。会場は札幌市中心部の複合施設の1階にある屋内広場で、世界各国からのフェアトレードの衣料品や雑貨、オーガニックの食品等のブースが並び、セカンドハンド北海道もカンボジアのクラフト品を販売しました。同時にワークショップやブース紹介の様子がYouTubeでライブ配信されていました。次回は12月の国際協力フェスタに出店予定です。(北海道・吉田)



5月7日に行われた青年海外協力隊の交流会に出店しました。海外の雑貨に興味がある方が多く、たくさんの方がセカンドハンドの商品を手に取ってくださいました!今後、駒ヶ根市のフェアトレード団体等と一緒にイベントを実施しようと動いています。今はまだ内容も時期も未定ですが、またご報告できたらと思います。(駒ヶ根・林)



## フェアトレード商品委託販売先募集

セカンドハンドが支援を行うカンボジアのNGO ラチャナ・ハンディクラフト・バッタンバンの工房では、現在4名の女性スタッフがクラフト品の制作を行っています。新型コロナウイルスの影響で商品の受注が激減したため、家庭で育てた野菜を販売するなど他の仕事も掛け持ちしながらなんとか生計を立てています。そこで、セカンドハンドでは女性たちが安定した給料を手にできるよう商品の発注を更に増やしていく予定です。

完成した品を店舗販売やイベント出店などを通じて協力販売して下さる方(個人や企業など)はいらっしゃいませんか。香川県外の方も大歓迎です。ぜひ事務局までお問い合わせください。



委託販売先 : カフェレストオリーブ(香川県三豊市)、和カフェぐう(香川県直島町)



3月~5月までの3ヶ月間にご寄付をくださった方々です。【順不同・敬称略】

青野千恵子、綾道子、伊賀憲子、池内保、出原弥生、今井里美、上田瞬介、岡田博子、岡野道子、岡本洋功、奥谷照榮、柏原裕美、片山績、鎌田守恭、亀山誠子、川崎多恵子、河原崎晴美、木村明仁子、久保智枝、小竹由美子、吳妙專、近藤温子、近藤彰介、桜野和枝、清水博子、清水勉、下地初子、白川みふみ、末澤一誠、敦賀高校1-2、田中正利、竹内美香、谷森裕子、玉置麗子、俵恵美、塚田康代、辻よしみ、長尾美和子、中澤力、中村真早子、西川秋美、西川アリ、沼田章、のぞみ総合法律事務所、林陽一、堀真工、真嶋由岐夫、松原志乃、三木佳子、美濃吉広、三原主幹、宮本明宜、山内郁子、山本文子、横田千春、横山秀敏、吉本房子、若杉淳子

本部・高松店 お盆休み: 8/12(金) ~ 8/15(月)

〒760-0055 高松市観光通1-1-18

TEL: 087-861-9928

営業時間: 月~金 10時~16時

定休日: 土曜、日曜、祝日

片原町店 お盆休み: なし

〒760-0040 高松市片原町9-1

TEL: 087-822-3552

営業時間: 月~金 10時~18時

土・日・祝日 10時~17時

松縄店 お盆休み: 8/12(金) ~ 8/15(月)

〒760-0079 高松市松縄町37-5

TEL: 080-4999-0494

営業時間: 土~水 11時~18時

定休日: 木曜、金曜、祝日



セカンドハンドは「チャリティーショップ」と呼ばれるお店を運営し、その収益でカンボジアの支援をしています。

公益社団法人セカンドハンド

〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18 TEL&FAX 087-861-9928  
✉ jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/sh/SECOND  
HANDあなたの手を、世界の誰かに。  
**Sambot**  
セカンドハンド通信2022 July  
Vol.  
**109**

セカンドハンドの活動と一緒に盛り上げてくださるボランティアを大募集しています!

特に、セカンドハンドの顔となるお店番ボランティアとして活躍してくださる方を探しています。お店番は、市内3店舗のチャリティーショップでの接客や提供品の受け取り、会計などを行います。お店番、倉庫、事務など、どのボランティアが自分に合っているのか分からぬため、体験プログラムもご用意しております。まずはお気軽に事務局までお問い合わせください!



お店番



倉庫作業



運搬



事務作業

## Contents

セカンドハンド総会、理事長就任挨拶

ユース 現地奨学生との交流

Network / 女性の自立支援 / Special Thanks

# 総会開催 大津理事長就任



今年は役員改選を行い、新理事長に大津佳裕が就任致しました。また、元セカンドハンド職員の林香子を理事に迎え、役員が新体制となりました。役員のバックグラウンドの多様性を活かし、セカンドハンドのさらなる飛躍を目指します。



## 就任のご挨拶

理事長 大津佳裕

この度、三木前理事長の後任として、理事長に就任致しました。

セカンドハンドは、ボランティアの方々をはじめ、商品を提供していただく方、購入していただく方、寄付をしていただく方など多くの皆様によって支えられています。コロナ禍で、チャリティーショップの運営は厳しい状況にありますが、セカンドハンドの活動の意義や成果をより多くの人に知っていただけるよう積極的に情報発信をして、支援の輪をさらに広げ、持続可能なものにしていかなければならぬと思っています。

微力ではありますが、セカンドハンドの発展のために精一杯努力してまいりますので、皆様方のなお一層のご支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

6月5日、役員や正会員、ボランティアの皆様にご参加いただき、年に一度の総会を開催しました。審議を経て、2021年度の事業・決算、2022年度の計画が可決・承認されました。昨年度はコロナ禍の影響を受け、ショップ売上が落ち込みましたが、カンボジアのみならずマラウイや香川県内の子ども食堂への支援も続けることができました。ご支援、ご協力くださった皆様に感謝申し上げます。

## I 新役員一覧

### ●理事長

大津佳裕

### ●理事

小笠寛幸 片山績 高島清磨  
田村美津子 林香子 古川京司  
三木誠 横田千春 吉田莞爾

### ●監事

池内保 稲葉年信



林香子

公益社団法人  
青年海外協力協会(JOCA)  
教育部門担当

今年3月まで6年半、事務局職員として勤務しておりましたが、この度理事を拝命いたしました。JOCAで得た知識や経験をセカンドハンドに還元できたらと思っております。よろしくお願ひいたします。



## セカンドハンド・ユースと 奨学生との交流



ユースが支援を行うカンボジアの学生たちとテレビ電話を繋ぎ、交流会を開催しました。コロナ禍の学校生活のことや流行っている音楽など、思い思いに質問し合い交流を深めました。この数年はカンボジア渡航を実施することができず、お互いに顔の見える交流の機会が持てていませんでした。パソコンの小さな画面越しではありましたが、今回のイベントを経て、日本の学生たちはユースとしての活動意義を再確認できたようです。



沖田竜太郎

約2年ぶりにオンライン上ですが、奨学生と色々な話が出来て非常に楽しい交流会でした。今のカンボジアの生活状況や学習状況を話した

一方で、K-POPやプライベートの話などの様々な話もしました。私自身、奨学生と話することで自分たちの活動が奨学生に役に立っていることをさらに感じ、より奨学金支援に力が入るようになりました。今年度もしっかりと目標金額を達成できるように頑張っていきます。



菅原楓月

「えっ、なんて言うんだろう...」「そうそう!! Good, Good!!!!」何度も画面に向かってOKサインをし、必死に会話の中で自分の分かる英単語を探したあの約1時間。それは私にとって、今ある視点を変え、言葉の重みや想いを強く感じる事ができた貴重な時間でした。私はカンボジア学生の子たちの笑顔を今でも忘

れられません。好きなことや休日の過ごし方など何気ないお話をしました。皆それぞれが笑顔で楽しそうに話し、私はOKサインを片手に聞き取り、時には接続の悪さで時差を感じながらも同じ空間を共有しました。私はセカンドハンドの活動を通して、今カンボジアでは読み書きが出来ない状況にある人や、家など周りの環境の整っていない人がいることを知りました。しかし、このようなことについて普段深く考えることがなかったことで、どこか優劣をつけてしまっていたような気がします。でも、私たちと変わらない笑顔で同じように未来を生きていく人間であることはかわりありません。私は、興味本意で参加していた募金活動が、誰かの笑顔や今に繋がっていることを感じ、自分たちの当たり前を当たり前だと思わず、同じ人間として手をとりあえる存在で在りたいと強く思いました。

原雄一朗



「久しぶり！」と声を大にしてしまうほどの懐かしさを感じた時間でした。久しぶりに奨学生の皆さんと近況報告や他愛のない会話で盛り上がることができました。今回のイベントで、ユースの活動は新型コロナウイルスの感染拡大や国境に関係なく現地に繋がっていることを改めて認識し、現地での教育環境の確保に向け、より一層活動を盛り上げていきたいと思います。

2017年奨学生の家にホームステイ

## 6月5日の総会、報告会の内容を詳しくお知らせします

### 1 事業報告

2021年度は、ほぼ2020年度と同様の事業を実施しました。学校建設では、オーロムチェック小学校の建設費100万円を、コロナ禍で苦しんでいるカンボジアのホームランド、KKEV センソックセンターの子どもたち、マラウイのOAUの子どもたち、香川県内の子ども食堂への支援を継続しました。また奨学金支援、ラチャナ・ハンディクラフトへの応援も行いました。

### 2 決算報告

2021年度は、単年度赤字約340万円となりました。コロナ禍のため、チャリティショップの売上が大きく減少したことなどに伴う赤字です。ただし、前年度からの繰越もあったので、全体としては収支均衡しています。

### 3 事業計画・予算

2022年度は、これまで実施してきた貧困家庭の子どもたちの支援、女性の支援を継続していきます。なお、学校建設はいったんお休みとします。

#### ※2021年度の主なデータ

- ①ボランティア 約60名（年間稼働延べ1960回）  
+単発ボランティア（高校生等）
- ②商品提供者 年間延べ2,462回（うち宅配便での提供は延べ258回）
- ③寄附者 年間延べ約430人（総寄附金額457万円）
- ④店舗購入者数 年間延べ14,129人（3店舗の合計）

### 4 報告会

奨学金支援等でお世話になっているプノンペンのNGO、KKEV責任者ピアラック氏に現地の様子、とりわけセンソックのスラムの子どもたちの様子について聞きました。

「2020 年度からの COVID-19 の感染拡大のため、地区ごとのロックダウンなどが行われ、スラムの住民の暮らしは大変厳しくなった。学校も断続的に閉鎖され、2022 年になってようやく対面授業が再開された。休校中は、オンラインでの学習が推奨されたものの、スラムの子どもたちは（ホームランドの子どもたちも）視聴する環境や機器がなく、勉強から取り残されたままでいた。学校が始まるとともにセンソックの支援センターも子どもたちへの学習支援や食事の提供を再開している。現在 COVID-19 の感染は収まっているが、ロシアのウクライナ侵攻などに伴い、ガソリン等が高騰していて、暮らしは厳しくなる一方だ」

#### 前理事長退任挨拶

7 年間ありがとうございました。

ちょうどセカンドハンドが 20 周年を過ぎ曲がり角に差しかかっていた時に関わり始め、松縄店の開店や職員の働き方改革など、どちらかというと守りに徹した年月でした。最後の 2 年間はコロナ禍の中で生き残るための方策ばかりを考えていました。セカンドハンドは創設から 28 年、糸余曲折はあったものの、もう一つの手を誰かのために、という理念は変わりません。30 周年に向かってセカンドハンドが地域社会により深く関われるよう引き続きお手伝いしていきます。（理事 三木誠）

2021 年度事業報告及び決算報告は、ホームページでご覧ください。

セカンドハンド団体概要 <http://2nd-hand.main.jp/sh/about/about2/>

## 急募 お店番ボランティア

セカンドハンドではチャリティショップを手伝ってくださるボランティアを募集しています。お店番では、店頭での接客や品出し、会計等の作業をしていただきます。1 時間からボランティア活動が可能です。

セカンドハンド事務局まで電話かメールでご連絡ください。